

はな つづき
花の都筑

加羅古呂庵 一泉

はな つづき
花の都筑

横浜市都筑区は、遊歩道が張りめぐらされており、道端には四季折々に花が咲いています。住宅の庭や商店街にも色とりどりの花が植えられ、さながら「花の街」といえます。

新しく築かれた街とともに、自然のままに残された里山の木々も花を咲かせ、秋から冬にかけては木の葉の色も鮮やかに染まります。都筑の地は、人の暮らしと自然が調和した美しい街に発展してきました。

街そのものが花開く都筑をテーマに、あまり邦楽っぽくせず、覚えやすいメロディーで、十七絃でベースを刻み、BGMとして活用されることも想定して、全体として4分の4拍子の軽快な曲にしてみました。

The musical score is arranged in five staves. The first two staves are for 1尺8寸管 (Shichu-hachi), with the first staff labeled 尺八I and the second 尺八II. Both play a simple melody with notes '口' (kuchi) and 'ピ' (pi). The third and fourth staves are for 箏 (Shamisen), labeled 箏 I and 箏 II, both in '花雲調子' (Hanagumori). The fifth staff is for 十七絃 (Ishichu), providing a bass line with notes numbered 二, 三, 五, 七, 九, 1, 3, 5, 7.

運指、奏法については、適宜工夫していただいでけっこうです。